

※情報共有メールは、プラチナサポートの特典となっております。プラチナサポート加盟店以外への共有、流用等は禁止されております。

※配信当時の内容のため、現状の内容と異なる場合もございます。予めご了承ください。

## プラチナサポート情報共有メール

| No. | 702   | 配信日 | 2026/7/27 | ジャンル | 商品知識 |
|-----|-------|-----|-----------|------|------|
| テーマ | エメラルド |     |           |      |      |

「エメラルドって、色が濃くてキズがない方が高いんでしょ？」と思われがちですが、実はそれ、少しもったいない一面的な見方です。今回は、査定や接客で活かせるエメラルドの知識や査定時のポイントについて共有いたします。

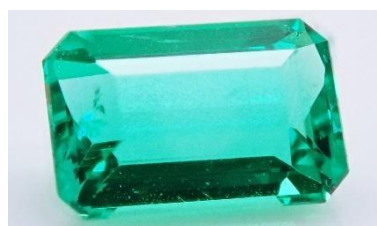
### 1.エメラルドとは

・エメラルドは地球が作った、天然の成分が決まっている石の結晶である、鉱物「ベリル」の一種です。

ちなみにこのベリルに鉄が混ざると、アクアマリンになります。

・モース硬度は 7.5～8 と比較的硬い宝石ですが、内部に亀裂や内包物が非常に多く含まれるため、衝撃には弱いという繊細な宝石です。

・5月の誕生石としても知られ、「幸福」「愛」「希望」を象徴する宝石として古くから世界中で愛されています。



### 2. エメラルドの査定において重要なポイント

#### ① カラー

エメラルドの価値は、世界的な鑑定機関である GIA でも「Color（色）」が最も重要な評価項目とされています。評価されるのは「濃さ」だけではなく、色相・彩度・明度のバランスです。

黄色味が強いものよりも純粋な緑色、くすんだ緑よりも発色のいい緑、色が濃すぎて黒っぽく見えてしまうものよりも鮮やかで光を通す緑のほうが評価は高く、高価になります。

闇雲に濃いものより、パッと見てきれい！と鮮やかさを感じるもののほうが高いということです。

#### ② クラリティ

ダイヤモンドとは違い、エメラルドはインクルージョンがあることが一般的です。

それは、ダイヤモンドは炭素の結晶としてほぼ単一元素から生まれるのに対し、海の近くに多い元素と、陸に多い元素が地殻変動によって合体しているためなんです。そんなエメラルドのインクルージョンでも、入り方で評価が大きく分かります。

インクルージョンが「石の裏側や端」に寄っており、正面から見たときに目立たないものや、インクルージョン自体が白っぽく、光の反射を邪魔しないものが評価は高く、高価が付きやすいです。



### 3. 意外と知らない知識を接客に活かす

エメラルドのインクルージョンは、ジャルダン（フランス語で「庭園」）とも呼ばれています。

ダイヤモンドの世界では不純物と言われてしまうものが、エメラルドでは、顕微鏡で覗くとまるで木の枝が広がる美しい庭園のように見えるためです。自然に生まれるもののため、同じ庭は存在しません。

接客に活用できるトーク例

「ジャルダンは美しいお庭ですが、裏を返せば天然の亀裂ですので、どうしても衝撃にデリケートです。万が一、保管中にぶつけてしまったり、経年変化でこの美しいお庭にひび割れが広がってしまうと、その瞬間に価値が大きく下がってしまう可能性があります。そのため今が一番の売り時と言えます！」